



令和7年度 技術・家庭 技術分野 検討の観点と内容の特色

6教図 技術006-73
技術006-74
新 技術・家庭
技術分野
明日を創造する

教育基本法（第2条）との関連

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
1	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように工夫されているか。	① 基礎・基本の知識と技能 を1章で習得できるような章構成にし、幅広い知識と教養を身に付けられるように配慮されている。 ②2章（【D編情報の技術】は2章3章）では、 問題解決の手順 を分かりやすく示すとともに、自らが見出した問題を解決する活動を取り上げることで、 技術的な真理を求める態度を養う ことができるように配慮されている。 ③3章（【D編情報の技術】は4章）では、 技術のプラス面とマイナス面 について考察をすることで、 豊かな情操と道徳心を培う ことができるように配慮されている。	①p.16-33,72-83,114-135,174-191 ②p.34-65,84-107,136-167,192-241 ③p.66-69,108-111,168-171,242-245
2	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように工夫されているか。	① 問題解決学習 に適した設計・計画、育成・計画の立て方と実習題材を掲載することで、 個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自立の精神を養う ことができるように配慮がされている。 ②技術に関する 施設の見学や社会で活躍する方を「技ビト」として紹介 することで、 職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う ことができるように配慮されている。	①p.36-63,86-105,138-165,196-217,222-239 ②口絵④,技ビト(p.22,64,65,83,107,109,167,169,191,219,243)
3	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	①「見つける」の生徒のイラストは、 男女が意見を出し合う光景 を示し、またイラストや写真では男女の数を同程度にすることで、 男女の平等に配慮 されている。 ②双方向的な活動である、 班やグループで話し合いや発表をする場面 を設けることで、 自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う 配慮がされている。 ③巻末に掲載した 未来の社会 では、今後どのように技術をいかすことができるかを考えさせることで、 公共の精神 に基づき、主体的に 社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う ことに配慮されている。	①p.16,66,72,74,80,86,90,108,114,116,118など ②p.60,100,162,214,236 ③口絵⑤⑥
4	第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	① 自然環境の保全や海洋保全、人間生活とのかね合いを考慮して、生態系の保護 を取り上げることで、 持続可能な社会を目指し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う ことに配慮されている。 ② 社会の環境問題 を取り上げることで、 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う ことに配慮されている。	①p.73,79,81,83,105,108-109 ②p.67-68,133,168-169
5	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	① 伝統的な日本の技術をいかしたものづくり に従事している方々や事例を紹介するなど、 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う ことに配慮されている。 ② 森林の保全やエネルギー資源への配慮 について取り上げることで、 わが国と郷土を愛する態度を養う ことに配慮されている。 ③ 持続可能な社会を実現 するための目標を示すことで、 国際社会と協調 することの大切さを理解し、 考えていくこと の大切さに配慮されている。	①p.14,19,22,29,65,107,252など ②p.66-67,168-169 ③p.66-67,108-109,168-169,242-243

学習指導要領との関連

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
6	学習指導要領の技術・家庭科技術分野の目標に沿っているか。	①学習指導要領の目標に対応した 系統的な配列 になっており、技術分野の 見方・考え方 を働かせて 問題解決能力 が身に付く構成になっている。	①p.8-9,全体
7	内容の 配列、分量 は適切か。	①各編の1章、2章(【D編情報の技術】は2章3章)、3章(【D編情報の技術】は4章)が学習指導要領の(1)(2)(3)、(Dは4)に対応していることで、 系統的な内容の配列 で、評価の行いやすい構成になるよう工夫されている。 ②各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるように構成している。	①②p.2-3
8	技術の見方・考え方 を働かせられる工夫がされているか。	①「 見つける 」の生徒同士、生徒と先生との対話によって、技術への関心を喚起して、生徒が自覚的に 技術の見方・考え方 を働かせるようにしている。 ②2章(【D編情報の技術】は2章3章)では、 問題発見→課題設定→知識・技能を活用した課題解決に取り組む 一連の流れから、 技術の見方・考え方を形成 できるようにしている。 ③3章(【D編情報の技術】は4章)では、形成された技術への見方・考え方を働かせ、 技術を生活や社会にいかす態度 を養えるようにしている。	①p.16,18,30,32など ②p.36-60など ③p.66-67など
9	主体的・対話的で深い学び を実現できる工夫がされているか。	①「やってみよう」では技術について調べさせたり、考えさせたりする活動を通して、 主体的で対話的な学び ができるように配慮されている。 ②2章のまとめでは、設計・計画、計画・育成のまとめをグループで発表し合うことで、 対話的な活動を通じて自らの設計を振り返り、深い学び を実現できるように配慮されている。	①②p.33,60,83,100,135,162,191,214,236など
10	カリキュラム・マネジメント がしやすいような配慮がされているか。	①各章ごとの資料に、 他教科との学習の関連 を表すマークを示して、教科間の学習の連携がとれるように配慮されている。	①p.72,114,116,118,120,124,174など
11	問題解決的な学習過程 を重視しているか。	①A～C編の2章、D編の2・3章冒頭に、生徒に親しみのある 漫画を用いた問題解決の流れを学べるページ を設け、生徒が主体的に問題解決に取り組めるようにしている。 ② 問題解決の手順を丁寧に示す ことで、技術をいかした問題解決能力を育めるよう工夫している。 ③生徒が自ら主体的に問題解決に取り組むことができるよう、 幅広い題材例 が紹介されている。	①p.36-37,86-87,138-139,196-197,222-223 ②p.8-9,36-60,86-100,138-162,196-214,223-226 ③p.52-59,62-63,96-99,102-105,154-161,164-165,208-213,216-217,232-235,238-239
12	知識や技能 が習得しやすい工夫がされているか。	①「 見つける・学ぶ・振り返る 」が基本配列となっており、「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「振り返る」で学習理解の確認ができる。 ②2章の「 プチ問題解決にチャレンジ! 」の製作題材は基礎技能が学べる易しい題材とし、2章【(D編情報の技術)は2章3章】の「題材例」では1つ1つの作業工程を丁寧に示し、教科書と 別冊「スキルアシスト」 により、確かな技能を身に付けることができるようになっている。 ③技能資料は別冊「スキルアシスト」にまとめて掲載されており、 加工法の確認や実習中に作業を確認 できるようになっている。作業工程や時間の設定の参考にでき、見通しをもった設計・計画ができる。	①p.16-17,72-73,115-116,174-175など ②p.38-41,88-89,140-143,198-199,224-225,別冊「スキルアシスト」全体 ③別冊「スキルアシスト」全体
13	思考力、判断力、表現力 等が育成しやすい工夫がされているか。	① 技術による問題解決の流れ を丁寧に説明することにより、生徒が自らの問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。 ② 設計・計画に必要な要素を多数掲載 し、生徒自らの問題解決を実現できる。生徒自身の設計や計画を記入できる「 設計・計画シート 」「 計画・育成シート 」が巻末に切り取り式シートで用意されている。記入見本を提示することで、表現することに難しさを感じる生徒も取り組みやすくなるように配慮されている。 ③各編の最終章にある「 社会の発展と技術 」では、社会における技術のプラス面とマイナス面の資料を掲載して、自ら考え判断できる内容にしている。	①p.8-9など ②巻末「設計・計画シート」,「計画・育成シート」 p.53,94-95,152-153,207,231 ③p.66-67,108-109,168-169,242-243

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
14	学びに向かう力、人間性等が育成しやすい工夫がされているか。	①各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけが設けられている。 ②3章（【D編情報の技術】は4章）には 社会と関連させたサステナビリティの資料 を掲載し、社会の問題を自らの問題として主体的に取り組めるようになっている。	①p.33,60,83,100,135,162,191,214,236 ②p.66-67,108-109,168-169,242-243
15	技術分野のガイダンスを行いやすい配慮がされているか。	①学習の項目ごとに 他教科や小学校との学習の連携 を図りながら、学習が進められるように配慮されている。 ②「 学習を楽しく安全に進めるために 」では、技術分野でものづくりを行う中で安全な作業が必要とされることを示すことで、 安全・衛生教育の大切さ に配慮されている。	①口絵③-p.1 ②p.12-13,34-35,84-85,136-137,192-193別冊「スキルアシスト」p.5など
16	内容A「材料と加工の技術」について、基礎的な理解を図り、基礎・基本となる技能を習得し、生活や社会、環境との関わりについての理解を深め、材料と加工の技術を用いて課題を解決しようとする実践的な態度を養えるよう工夫されているか。	①材料と加工の技術が、身近にある製品や 防災・減災 にいかされていることを示し、興味・関心を高めることで 主体的で対話的に学習に取り組める よう工夫している。 ② 木造建築や木材の伝統的な接合技術の例 などを紹介し、 日本の伝統・文化 を、誇りを持って継承していくことの大切さに気づかせるようにしている。 ③ ペットボトルを例に製品に込められた工夫を調べ考える ことで、生活や社会からの要求や、安全性、環境負荷の軽減、経済性などで技術を評価し、活用する能力を育成できるようにしている。 ④ 超節水ノズルの開発者のインタビュー を取り上げ、社会に役立つための製品に込められた思いや製品を開発の工夫を紹介し、主体的に問題に向き合っていく大切さに気づけるように工夫している。	①p.4,14-15,16-19,24-27,31 ②p.14-15,17,19など ③p.30-31 ④p.67
17	内容B「生物育成の技術」について、基礎的な理解を図り、基礎・基本となる技能を習得し、生活や社会、環境との関わりについての理解を深め、生物育成の技術を用いて課題を解決しようとする実践的な態度を養えるよう工夫されているか。	①農場や林業の施設の見学について学習できるようにし、 職業観、勤労観の育成 が 目指されている 。 ②日本の各地域の特産となっている 伝統野菜 を紹介し、郷土への興味・関心を高め、継承することの大切さを考えられるようになっている。 ③別冊「スキルアシスト」に「 病虫害チェック 」「 ここで合ってる？ 」「 収穫に適しているかな？ 」を設け、思考力、判断力を育成し、技能を自己評価できるよう工夫している。 ④ 養豚場で働く人のインタビュー を通じて、私たちの食生活がほかの動物の命により支えられていることや、 生命倫理 について考えることができる。 ⑤水産資源の有効利用では、 日本の養殖技術 が食料自給率の向上に貢献していくことや、川や海を取り巻く水環境を守るための工夫について紹介している。	①p.80-81,83-85 ②p.93 ③別冊「スキルアシスト」p.19,23-24 ④p.107 ⑤p.79,81-82,108-109
18	内容C「エネルギー変換の技術」について、基礎的な理解を図り、基礎・基本となる技能を習得し、生活や社会、環境との関わりについての理解を深め、エネルギー変換の技術を用いて課題を解決しようとする実践的な態度を養えるよう工夫されているか。	①日本が誇る技術の1つである「 シールドマシンの技術 」を取り上げ、日本の技術の発展を紹介するとともに、 日本の技術が世界に貢献している ことを示し、生徒の興味・関心を引くことができるようになっている。 ②さまざまな発電技術の特徴を示すことで、社会的・環境的・経済的な視点で技術を評価し、活用する能力を育成できるようになっている。 ③自転車や電気機器、電池などの身近な製品の保守点検の技術を取り上げ、技術を適切に評価し活用する能力の育成が 目指されている 。 ④エスカレータなどの技術の工夫について考え、技術の力によって問題を解決できることの大切さを示している。 ⑤エネルギー変換の技術をいかした製作に必要な知識や考え方を丁寧に取り上げ、生徒が主体的に電気回路や機構を使用した設計・計画ができるように工夫している。 ⑥ 電動車椅子を製作している技術者のインタビュー を通じて、障がいのある人とともに支え合うことの大切さや、思いをもって主体的に問題を解決していくことの大切さを示している。	①p.112-113 ②p.114,121-122 ③p.130-131 ④p.132 ⑤p.116-119,126-129,146-153 ⑥p.169

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
19	内容D「情報の技術」について、基礎的な理解を図り、基礎・基本となる技能を習得し、生活や社会、環境との関わりについての理解を深め、情報の技術を用いて課題を解決しようとする実践的な態度を養えるよう工夫されているか。	①国産の遠隔手術ロボットや人工衛星（しきさい）を取り上げ、日本の技術が医療や健康、食料生産など国際社会に貢献していることが紹介され、生徒の興味・関心を引けるようになっている。 ②スマートフォンやタブレットなど、生徒の身近な製品を取り上げ、情報モラルや情報セキュリティを示している。 ③プログラムやさまざまなプログラミング言語を紹介するページを設け、生徒が主体的にプログラムの制作に取り組めるよう工夫されている。 ④筋電義手の製作者を紹介し、障がいのある人とともに支え合うことの大切さを伝えるとともに、職業観、勤労観の育成ができるようになっている。 ⑤コンピュータを使用する上での健康面についての配慮も取り上げている。 ⑥情報の流れを表す図やプログラム全体の動作をまとめたアクティビティ図の書き方を丁寧に取り上げている。 ⑦AIによる音声合成の技術者のインタビューでは、自由に創造することへの思いや主体的に問題を解決していくことの大切さが示されている。	①p.172-173,241 ②p.184-187 ③p.182-183,別冊「スキルアシスト」 p.30-38 ④p.191 ⑤p.193 ⑥p.204-206 ⑦p.243
20	実践的・体験的な学習活動を通して、3学年間の見通しを持って教科の目標が達成できるように配慮されているか。	①「材料と加工の技術」では、基本題材（不思議な本立て）で問題解決と技能を学んだ後、身近な問題を解決するための方法が例示されている。 ②「生物育成の技術」では、基本題材（ベビーリーフ）で問題解決と技能を学んだ後、身近な問題を解決するための方法が例示されている。 ③「エネルギー変換の技術」では、基本題材（LEDをつけてみよう）、（ロボットハンドをつくってみよう）で問題解決と技能を学んだ後、身近な問題解決の方法が例示されている。 ④「双方向性のあるコンテンツのプログラミング」では、基本題材（サイコロの目の数を当てるプログラム）で問題解決と手順を学んだ後、身近な問題を解決する方法が例示されている。 ⑤「計測・制御の活用」では、基本題材（制御用コンピュータ）で問題解決と手順を学んだ後、身近な問題を解決する方法が例示されている。	①p.36-63 ②p.86-105 ③p.138-165 ④p.196-217 ⑤p.222-239
21	技術を適切に評価し、選択、管理・運用、改良、応用する能力と態度を育てることができるように、配慮されているか。	①技術分野の学習を通して生徒が「技術を評価し、選択、管理・運用する力」を身に付けられるよう各編末の「やってみよう」でまとめることができる。	①p.68,110,170,244

教科書構成上の配慮と工夫

1 内容の構成・配列・分量

22	教科書の構成は、系統的に学習を深められるようになっているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、A～D編を1章「技術を見つめよう」、2章「技術をいかそう」（D編は2・3章）、3章「未来をつくろう」（D編は4章）で構成されている。	①p.2-3
23	主体的に学習活動に取り組めるような工夫がされているか。	①「見つける・学ぶ・ふり返る」を基本配列として、「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「ふり返る」で学習理解の確認ができるように工夫されている。 ②生徒が家庭でも主体的に自学自習できるように、丁寧な記述、文章の充実がされており、取り組みやすい題材が取り上げられている。	①p.16-33など ②全体
24	学習評価が行いやすいように配慮されているか。	①学習ごとの冒頭の「めあて」とページ末の「ふり返る」が対応しているので、評価を見取りやすくなっている。 ②編末の問題では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」という3観点別の評価に対応できるような構成になっている。	①p.17,29,31,33など ②p.68-69,110-111,170-171,244-245
25	生活や社会における技術の果たす役割や、技術の進展について、十分な取り扱いがされているか。	①ガイダンスでは、私たちの暮らしを支えている技術の事例を紹介し、どのように技術が利用されているかを考えることができる。 ②3章（【D編情報の技術】は4章）では、未来をつくろう、と位置づけ、技術の誠実ないかしかたについて記述している。	①p.4-5 ②p.66-67,108-109,168-169,242-243

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
26	生徒一人一人が自らの興味・関心をもって学習に取り組める工夫がされているか。	①製作・育成・制作では生徒個々が問題発見から解決までをできるように配慮されている。 ②生徒の理解度や興味・関心に応じて、積極的に学習を進められることができるよう、「もっと知ろう」や「先輩に聞いてみよう」のコラムが設けられている。 ③中扉は社会で利用されている技術の写真やイラストを大きく配置することで、生徒に技術への興味・関心を引き出させるように配慮されている。 ④「見つける」では、生徒がその学習で抱くであろう疑問や関心を対話式で提示することで、学習への意欲を喚起するように工夫されている。 ⑤「スゴ技」や「技ビト」のコラムを取り上げることで、生徒が生活や社会の中で使用される技術について興味・関心を持てるように配慮されている。	①p.42-43,144-145,200-201,226-227 ②p.33,61,93,101,104-105,149-150,163,188,215 ③p.14-15,70-71,112-113,172-173 ④p.16,18,30,32など ⑤「スゴ技」 p.29,51,67,133,135,167,237,241 「技ビト」 p.22,64,65,83,107,109,167,169,191,219,243
27	本文・写真・イラスト・図表等の量、配分は適切か。	①学習内容の精選と重点化が図られ、本文の理解を助けるために必要な写真・イラスト・図表などが適切な箇所に配分して構成されている。	①全体
28	文字の書体や大きさ、行間等は読みやすく配慮されているか。	①本文の文字の大きさは、生徒が読みやすいように配慮され、学習内容の重要語句は、視認性を上げるために、青太文字になっている。	①全体
29	地域に関連づけた指導ができるような工夫がされているか。	①各編に各地域の伝統文化や産業が掲載され、各地域の職業人にインタビューをしたり、全国の博物館の情報を掲載している。	①p.19,22,65,口絵④など
30	内容は正確で、中立・公平になるように配慮されているか。	①大学・企業・研究所・現場の先生など、あらゆる立場の人たちの意見をもとに、記述内容が中立・公平になるように配慮されている。	①全体
31	資料、統計などは、出典、出所が明示されているか。	①資料、統計などの出典や出所が公平に記述されている。	①全体
32	紙面が見やすいように配慮がされているか。	①障がいの有無にかかわらず、すべての生徒に学習しやすいように、文字が大きく、紙面の構成が統一されている。	①全体
33	表紙において、教科・分野や学習内容への配慮はされているか。	①街のイラストから技術分野の学習内容をイメージできるデザインとなっている。 ②サブタイトルは「明日を創造する」と明記し、技術分野として目指す生徒像を明確にしている。 ③技術分野と家庭分野の表紙を合わせることで、持続可能な社会と人とのつながりを大切に生活する、技術・家庭科の学習目標をイメージすることができる。	①②③表紙

2 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

34	特別支援教育に配慮されているか。	①ガイダンスの「みんなが作業しやすい環境の整備から始めてみよう」では、ものづくりを行う上で、だれでも安心して作業できるように例示で配慮されている。 ②紙面の〈見つける→学ぶ→振り返る〉は、生徒が学習の流れを追えるよう工夫されている。 ③重要語句を青色の太字にすることで、多くの生徒にとって見やすく、読みやすいように工夫されている。 ④必要な漢字には各見開きごとに振り仮名を振っている。読みに困難がある生徒や、日本語の習得に困難がある生徒も学習に取り組みやすいように配慮されている。	①p.6-7 ②p.18-33など ③全体 ④全体
35	色覚特性など発達特性に配慮されているか。	①書体はUD書体（ユニバーサルデザイン書体）を使用している。また、カラーバリアフリーの観点から、色覚に関する専門家の校閲を受けている。	①全体
36	人権や福祉に対する配慮はされているか。	①登場する男女のイラストや写真の数、役割、服装などに偏りがないように配慮されている。 ②車椅子が必要な生徒が作業をしやすくなる環境づくりについて取り上げ、多様な生徒が協力して学ぶことができるように配慮されている。	①全体 ②p.6
37	学習の習熟や進度の違いに対応できるようになっているか。	①幅広い実習題材をそろえ、時間数や技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応できるようになっている。 ②本文を補足したり、応用したりする内容は、資料やコラムなどで記述されている。	①p.38-63,88-105,140-165,198-213,224-239 ②p.30,32など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
38	小学校の学習内容との関連に配慮されているか。	①口絵や各編の資料に、 小学校との学習の関連 を示して、教科間の学習の連携がとれるように配慮されている。 ② プログラミング言語 は、小学校で扱いがある ブロック型の言語 と、中学生でも言語の意味が系統的に理解できる 日本語言語 の両方を示し、プログラミングの学習が進めやすいように配慮されている。	①口絵③-p.1,72,114,174など ②p.198-199,208-217,224-225,232-235,238-239,別冊「スキルアシスト」p.30-38
39	他教科の学習、特別活動、総合的な学習の時間との関連に配慮されているか。	①各編の資料に、 他教科との学習の関連 を示して、 教科間の学習の連携 がとれるように配慮されている。	①p.72,114,174など
40	特別の教科「道徳」との関連に配慮されているか。	① 生命の尊重、環境の保全 について配慮されている。 ②教科書全体として問題解決を重視した構成で、生徒が問題解決をできるようになり、 真理を大切に する態度を養うことができるように配慮されている。	①p.4,66-67,108-109,168-169,242-243 ②全体
41	「 発展的な学習内容 」が適切に取り扱われているか。	①本教科書に 発展的な学習 の内容はなく、 基礎的・基本的な学習 内容で構成されている。	①全体

3 今日的な課題への取り組み

42	社会に開かれた教育課程の実現が目指されているか。	①コラムの「 技ビト 」・「 スゴ技 」のコラムやE編「 夢をかなえる技術 」で、学んだ技術が社会にどういかされているかを取りあげて、 資質・能力を働かせてよりよい社会を創る という目標を持つるように配慮されている。	①p.246-253など
43	学校や地域の実態に即した カリキュラム・マネジメント ができるように配慮されているか。	①「 スゴ技 」・「 技ビト 」のコラムでは、地域で活躍する技術や職人を紹介することで、社会でどのように技術が活用されているかを生徒が考えることができるように配慮されている。 ②1章では 簡単な実習題材 、2章（【D編情報の技術】は2章3章）では 設計・計画をしやすい実習題材 を複数載せることで、学校ごとに実習題材の選択ができるように配慮されている。 ③「 博物館に行ってみよう! 」では、 全都道府県の博物館、科学技術館 を載せ、生徒が技術に関する施設を調べる活動をしやすいように配慮されている。	①p.22,29など ②全体 ③口絵④
44	プログラミング教育 について、習得しやすく配慮されているか。	①基本的な構造を分かりやすく記述し、生徒が興味をもって学習を進めることができるように配慮されている。 ②プログラミングの実習題材では、 制作手順の細分化 により、生徒が作業の手順を追いながらプログラミングの理論が理解でき、無理なく学習が進められるように配慮されている。また、 QRコンテンツ を活用し掲載題材を学習できるようにしている。 ③別冊「 スキルアシスト 」には ビジュアル型（スモウルビー）と日本語入力型（なでしこ） の基本操作法を載せることで、操作への迷いを軽減し、論理的な思考力を身に付けることができるように配慮されている。	①p.182-183など ②③p.198-199,208-213,216-217,224-225,232-235,238-239,別冊「スキルアシスト」p.30-37
45	持続可能な開発目標（SDGs） について、十分な取り扱いがされているか。	① 持続可能な開発目標（SDGs） の17の目標のマークを関連する学習内容に付けて、日本や世界で起こる諸問題を、自らに関わる課題として捉えられるようにしている。	①p.3,67,107,109,133,167,169,241,243,246など
46	キャリア教育 に対応した指導ができるように配慮されているか。	①「 先輩に聞いてみよう 」のコラムでは、技術に関する大会に参加した中学生を紹介することで、生徒に技術への興味・関心を抱かせるように工夫されている。 ②「 先輩からのメッセージ 」のページを設けて、高等学校で専門的な学習に取り組む先輩を紹介し、生徒に進路について考えさせることができるように配慮されている。	①p.61,163,215 ②p.250-251
47	言語能力 の育成に配慮されているか。	①「 やってみよう 」に結果をまとめ、話し合いや発表などに活用できるレポートを掲載している。	①p.33,60,68など
48	情報活用能力 の育成に配慮されているか。	①さまざまな情報の技術の活用例を例示して、目的に応じて情報を適切に活用する能力が育成できるように配慮されている。 ②コンピュータやタブレットの基本操作が、別冊「 スキルアシスト 」にまとめられ、参照しながらコンピュータやタブレットを活用することができる。	①p.175,186-187 ②別冊「スキルアシスト」p.39,裏表紙
49	伝統文化 に関する内容に配慮されているか。	①日本の伝統的な技術を取り上げ、生徒の意識を高めるように工夫されている。	①p.29,65,252など

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
50	情報モラルや情報リテラシーの取り扱いは十分か。	①知的財産を創造・保護・活用していこうとする態度や、使用者・生産者の安全に配慮して設計・製作したりするなど、 倫理観の育成 を重視している。また、 QRコンテンツで「情報モラルチェック」 を用意し 情報モラル について確認できる。	①p186-187
51	問題発見・課題解決能力の育成に配慮されているか。	①各編の2章（【D編情報の技術】は2章3章）の導入に、 4コマ漫画 があり、生徒が自ら問題発見と解決を理解し、取り組むことができるように配慮されている。	①p.36-37,86-87,138-139,196-197,222-223
52	防災・減災教育について、十分に配慮されているか。	① 災害時に役立つ技術 や地震に対する 免震・耐震技術 を載せることで、防災に関する技術を紹介している。また「 防災マーク 」を載せることで、生徒が関心を持てるように配慮されている。 ② 災害時を問題として想定した実習題材 を載せることで、災害という課題を設定した技術の見方を養えるように配慮されている。	①p.29,33,247など ②p.158,164
53	安全教育への対応は適切か。	①ガイダンスで 各教室の特徴と安全 をまとめ、安全の意識を高め実習に取り組むことができるようにしている。 ②ものづくりでは作業に応じて 安全のポイント を設けて、生徒が作業をする中で怪我をしないように配慮している。 ③2章では、ものづくりの学習を始める前に 各作業場での注意事項を説明 することで、安全な作業が不可欠であることを意識づける配慮がされている。 ④生物育成では 衛生のマーク を配し、特に衛生的な作業の必要性に配慮されている。 ⑤別冊「 スキルアシスト 」では基礎的な技能を示す中で、作業手順や工具の安全な使用を示し、 事故防止への配慮 がされている。	①p.12-13 ②p.40-41,96,140,148など ③p.34-35,84-85,136-137,192-193 ④p.84,別冊「スキルアシスト」p.19 ⑤別冊「スキルアシスト」p.4-5など
54	消費者教育の取り扱いに配慮されているか。	① 資源を循環させる技術 を載せたり、 プラスチックの環境問題 からリサイクルの必要性を載せることで、消費者の立場から技術について考えることができるように配慮されている。 ②3章（【D編情報の技術】4章）では消費者としての視点から技術について考えられるように、「 消費者マーク 」を配する工夫をしている。	①.32,133など ②p.66-67,108-109,168-169,242-243
55	国際理解、グローバル教育に関する取り組みがされているか。	①3章では「 共生マーク 」を配することで、技術に関わる環境問題を考えるには 国際的な視点 が必要になることを生徒に気づかせる配慮がされている。	①p.67,108,168など
56	教育のICT化やデジタル教科書に対応しているか。	① 学習者用デジタル教科書を発行 し、ICT機器を有効に活用したり、特別支援教育に対応したりできるように配慮されている。 ② 二次元コード を実習題材や別冊「スキルアシスト」の各ページに付することで、 動画などを閲覧 して学習を深め、理解をより確かなものにする工夫がされている。	①ICT教材関連 ②全体
57	新任の先生方や臨時免許の先生方が指導しやすいように配慮されているか。	①編の章構成を1、2、3章（【D編情報の技術】は4章）で統一し、学習指導要領の（1）生活や社会を支える技術、（2）問題の解決、（3）社会の発展と技術（Dは（4））、に対応させることで、 指導と評価を一体化 させやすいように配慮されている。 ②学習を<見つける→学ぶ→振り返る>で進めることで、学習の流れをひと目で捉えることができるように配慮されている。 ③ 実習題材の作業手順を丁寧に示す ことで、教科書通りに作業を進めることで、学習内容を捉えた実習ができるように配慮されている。	①p.2-3 ②全体 ③p.38-41など
58	教員の働き方改革への配慮がされているか。	①項目を1時間を基本として、 年間指導計画が立てやすい ように構成されている。 ②巻末に「 設計・計画シート 」「 計画・育成シート 」をとり込むとともに、記入例を掲載し、準備、評価の時間を短縮できるように配慮している。 ③別冊「 スキルアシスト 」で実習活動を通して先生が指導しやすく、生徒が工具の活用に迷わないように配慮されている。 ④教科書の縮刷版に解説を加えた「 授業実践編 」のほか、指導計画・評価資料、テスト・ワークシート集、デジタル資料など内容が充実した教師用指導書で、授業準備に役立つ資料を収録している。	①教師用指導書 ②巻末「設計・計画シート」「計画・育成シート,p.53,94-95,152-153,207,231 ③別冊「スキルアシスト」全体 ④教師用指導書

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
59	主権者教育に対する配慮がされているか。	①各編の3章(【D編情報の技術】は4章)の「 社会の発展と技術 」では、国や社会の問題を自分自身の問題として捉え、自ら考え、判断して行動できるように配慮されている。	①p.66-67,108-109,168-169,242-243

4 表記・表現

60	生徒の興味・関心への配慮や、生徒の 学習意欲を喚起するための工夫 がされているか。	① 生徒が意欲的に学習に取り組めるように、表紙のイラストや4コマ漫画など、わくわくする教科書になるように配慮している。 ②中扉は社会で利用されている技術の写真やイラストを大きく配置することで、生徒に技術への興味・関心を引き出させるように配慮されている。 ③「 見つける 」では、生徒がその学習で抱くであろう 疑問や関心を対話式で提示 することで、学習への意欲を喚起するように工夫されている。 ④「 スゴ技 」や「 技ビト 」のコラムを取り上げることで、生徒が生活や社会の中で使用される技術について興味・関心を持てるように配慮されている。	①全体 ②p.14-15,70-71,112-113,172-173 ③全体 ④「スゴ技」 p.29,51,67,133,135,167,237,241 「技ビト」 p.22,64,65,83,107,109,167,169,191,219,243
61	文章表現や漢字、仮名表記、用語等は理解しやすいように配慮されているか。	①漢字は基本的に 常用漢字 を使用し、 中学校の配当漢字 には、 見開き単位で初出の際に振り仮名 が付けられている。 ②本文の文章は「 敬体 」で親しみやすくし、図版のキャプションは「 常体 」とすることで差別化を図っている。	①②全体

5 用紙・印刷・造本

62	造本 について、学習が効果的に進むように工夫されているか。	①実習を進める上で、安全で正確な技能を習得したいときに参考にできる 別冊「スキルアシスト」 が付属しており、実習を効率的に進められるように配慮されている。 ②巻末の「 設計・計画シート 」「 計画・育成シート 」は切り取ることができ、より活用しやすいように工夫されている。	①別冊「スキルアシスト」全体 ②巻末「設計・計画シート」「計画・育成シート」
63	製本、紙質、判型、表紙 は適切か。	① 再生紙、植物油インキ を使用し、環境に配慮している。 ②製本は、 3年間の使用にも十分耐えられる ように丈夫な製本がされている。 ③紙は 軽くてなおかつ裏移りのない ものが採用されており、生徒が持ち運びやすいように配慮されている。書き込みにも適している。 ④写真や図などの資料が大きく見えて、なおかつ机の上で場所を取らない判型が採用され、 授業で使いやすいように配慮 されている。 ⑤ 表紙は防水加工 がされており、汚れにくく丈夫さが長持ちするよう配慮されている。	①②③④⑤全体
64	印刷 は鮮明で見やすいか。	①印刷は明るく目にやさしい色遣いで、 生徒の負担にならず読みやすい ように配慮されている。 ②製作物、製作過程などの 写真が細部まで鮮明に印刷 されており、完成品のイメージをしたり作業中に参照したりすることに適している。	①②全体

総合的所見

教科書全体を通して、総合的にどのような配慮を施した改訂となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書全体を通してさまざまな工夫を施し、適切に学習できるように配慮された改訂となっている。 ○技術分野の学習に必須の内容が系統的に提示されており、生徒の理解と習得が図れるように、資料性や題材例に富んだ教科書となっている。 ○本文は簡潔に分かりやすく、実習題材や手順を丁寧に掲載し、新任や臨時免許の指導者にも使いやすい教科書となっている。 ○基礎的・基本的な内容は本文で押さえ、別冊「スキルアシスト」は実習の場で助けとなるように工夫されている。 ○4コマ漫画や生徒同士のイラストなどで、問題解決的な学習が進めやすい教科書となっている。 ○ワークシート例や話し合いの学びも充実しており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ○QRコンテンツが充実しており、端末を使った授業に活用できる教科書となっている。 ○高校の必修教科「情報Ⅰ」に連動しやすいプログラミング言語を掲載している。
-------------------------------------	---